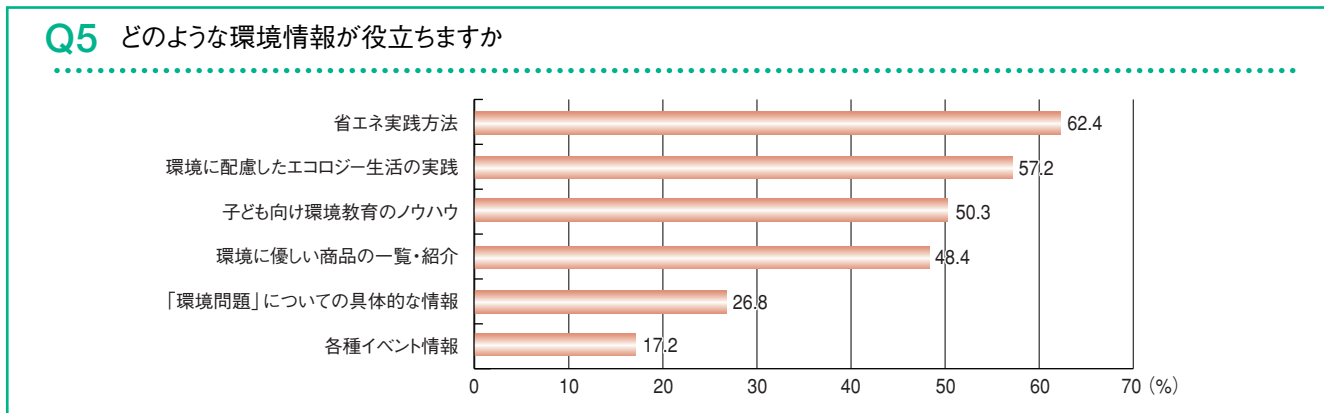
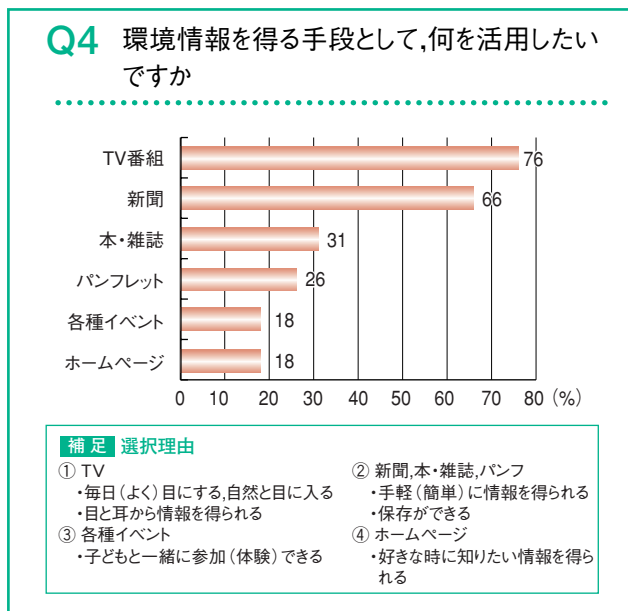
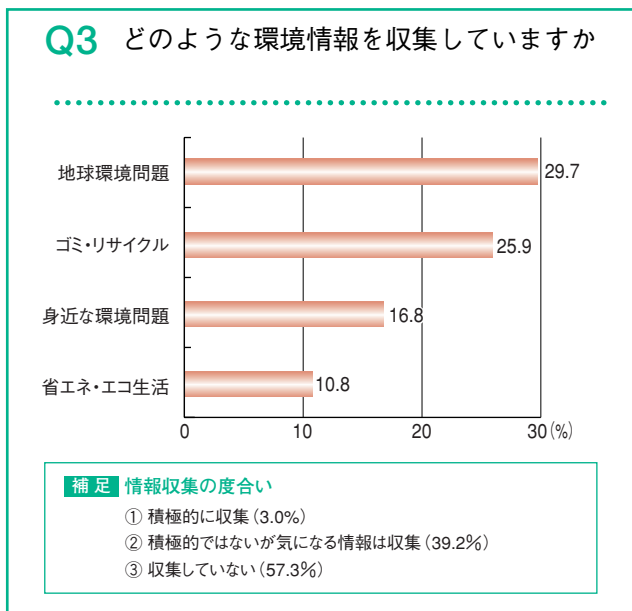
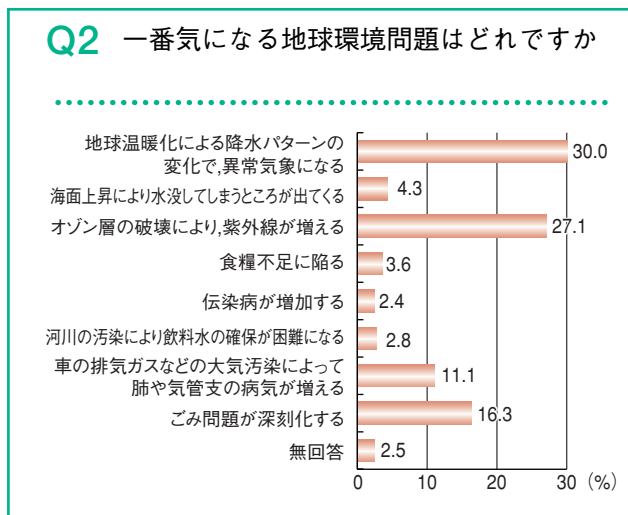
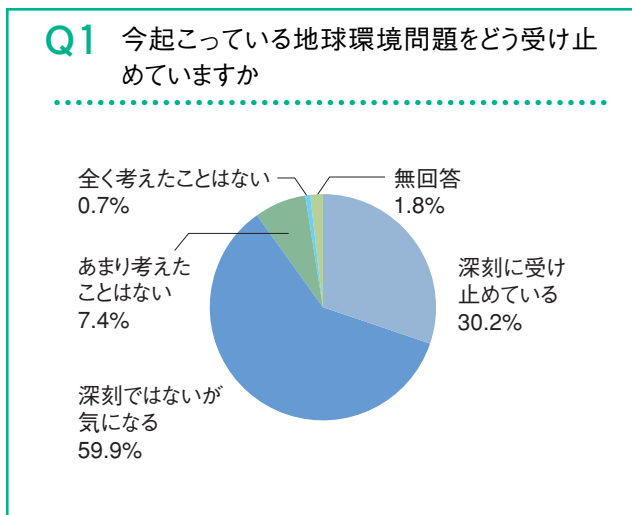
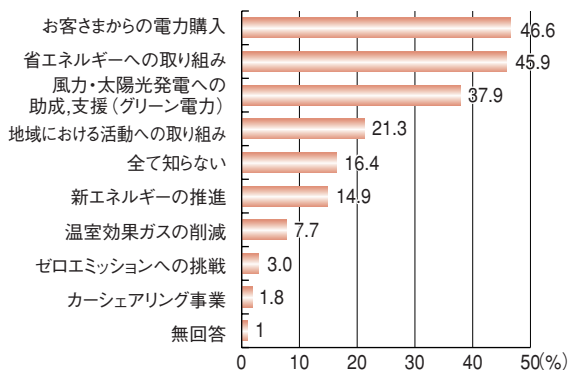


### 3 お母さま方の環境問題に関する意識・行動調査結果

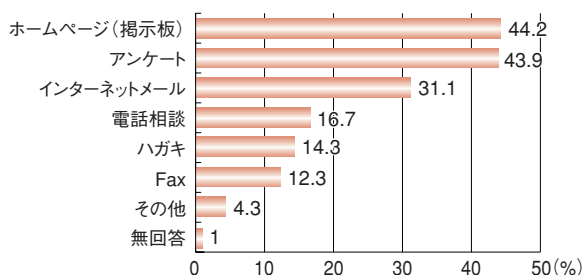
2002年11月に、九州在住のお母さま方を対象としたアンケートを実施し、貴重な意見を頂きました。アンケートの送付数は1,000件、回答数は676件(回答率67.6%)でした。主な結果は以下のとおりでした。



### Q6 九州電力の環境活動のうち既に知っていたものはどれですか



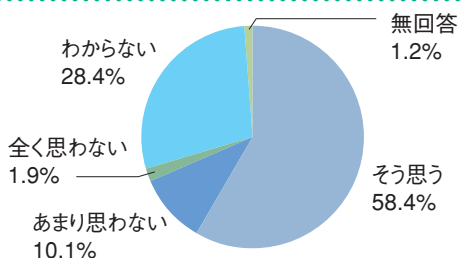
### Q7 環境活動に対する意見や質問を伝える方法で、充実して欲しいと思うのはどれですか



#### 補足

- |  |   |
|--|---|
| ① ホームページ<br>・いつでもどこからでも活用できる<br>・簡単・手軽かつリアルタイムで伝えられる | ② アンケート<br>・アンケートを通じ疑問や質問が出てくる<br>・関心が無くても抵抗無く受け入れられる |
| ③ インターネットメール<br>・簡単・手軽・携帯からも使える                      | ④ 電話<br>・相手と会話することで意志を伝えやすい                           |

### Q8 九州電力は環境に配慮した企業であると考えますか



#### 補足

- 「そう思う」と答えられた方の半数が「同封のパンフレットを見て『そう思う』」と回答
- 「あまり思わない」「全く思わない」と答えられた方の多くは、原子力発電への不安や不信、あるいは発電所建設が環境に与える影響への懸念を理由

#### お母さま方を対象とした理由

- ご家庭でお子さまへの環境教育を担っておられる
- 身近に環境問題を感じておられる
- 口コミ等を通し、多種多様なご意見等をお持ちである

#### このアンケートから見えてきたこと

- 環境情報は、自然と手に入る形で提供することが重要
- 手軽なコミュニケーションツールの充実が求められている
- 情報のキーワードは、「地域密着」「簡単」「分かりやすい」
- 身近な環境問題への取り組み活動例の提供が求められている
- まず、九州電力の取り組み姿勢を「お知らせする」ことが、関心度、企業イメージの向上に不可欠

## COLUMN NO.6 「九州電力エコ・マザー」第1回懇談会を開催

今後の環境広報活動の柱の一つと考えている「エコ・マザークラブ」のネットワークの構築に先立ち、各地区のエコ・マザーとの懇談会を、去る7月12日に福岡市で開催しました。皆さん、初めての経験ということもあり、「活動を始めてみなければ、(クラブが)どうなっていくか分からない」という不安の声や、「まず自分が勉強しなければ」と抱負を語る声が多数聞かれました。

なお、その他に寄せられた声を以下に紹介します。

- 一言で「エコ」といっても色々な切り口がある。子どもたちを「エコ活動」に向かわせるような活動としたい。
- お母さんと子どもと一緒に取り組めることを伝えていくべき。生ごみ処理、リサイクル・リユースなど身近なところから大きな広がりを持って、最終的には地球環境のことまで考えていきたい。
- 環境問題を教えるとともに、身近なところで何をすればいいのか伝えていきたい。
- 「人間も自然環境と共生していかなければ生きていけない」ということを伝えていきたい。
- 自分たちは九州電力と子どもたち、そしてその家族などのパイプ役。相互のメッセージを伝え、共に考えていきたい。
- 自分たちが次の世代に残せる事について色々と考えた一日だった。

九州電力では、エコ・マザーの方々と共に考えながら地域に密着した環境活動を展開していく予定です。



第1回懇談会の模様 (2003年7月12日開催)